



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 シンワオックス株式会社

コード番号 2654 URL <http://www.shinwa-ox.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 幸延

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 兼 経営企画室室長 (氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,772	△14.0	560	185.4	558	—	530	△70.0
23年3月期第3四半期	6,710	△40.3	196	—	△56	—	1,768	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 531百万円 (△70.0%) 23年3月期第3四半期 1,770百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3.78	—
23年3月期第3四半期	11.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,546	978	35.1
23年3月期	2,238	447	16.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 894百万円 23年3月期 369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,289	△14.3	620	75.2	593	608.3	549	△80.0	3.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	151,451,750 株	23年3月期	151,451,750 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	11,242,601 株	23年3月期	11,242,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	140,209,149 株	23年3月期3Q	150,460,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から着実な回復傾向にあるものの、欧州金融財政危機や円高の進行、株安等の影響により、経済環境は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、安定的な収益を生み出す給食事業に経営資源を集中させ、さらに前期より開始いたしました介護事業を強化し、引き続き「収益力の強化」と「財務体質の健全化」に向け取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,772百万円（前年同四半期比 14.0%減）、営業利益560百万円（前年同四半期比 185.4%増）、経常利益558百万円（前年同四半期は、経常損失56百万円）となり、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は、530百万円（前年同四半期比 70.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、セグメント名称を「外食・ホテル事業」より「外食事業」に変更しております。以下、前年同期比較については、当該事項を反映した前年同期の数値を用いております。

① 卸売事業

卸売事業におきましては、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響が依然として続いており、さらに焼肉店における集団食中毒事件以降、外食を中心とした需要が減少しいまだ回復傾向には至らず、厳しい状況が続きました。

当社におきましては、輸入食肉の仕入について、穀物価格の高止まりによる影響により現地において高値の状況が続いておりますが、円高の影響により価格を一定に抑えることが出来ました。また、メキシコとの経済連携協定において、関税の優遇によりさらに価格を抑えることが出来ましたが、需要の減少による商品価格の下落等があり、利益に影響を与えました。また、低価格商品が好まれる傾向にあり、商流の拡大を図るため豚肉等の取扱いを増やした結果、売上高は増加いたしました。利益については減少いたしました。

現在は、新たな商品のブランド化への取り組みを実施しており、日本のマーケットに見合った商品づくりの基盤の強化に向けて努めております。

以上の結果、卸売事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、934百万円（前年同四半期比 21.0%増）、営業利益は、24百万円（前年同四半期比 32.5%減）となりました。

② 外食事業

外食事業におきましては、連結子会社であるOX (H.K.) COMPANY LIMITEDが、香港にて外食店舗の運営を行っており、不採算店舗の業態変更、優良店のFC参加等を積極的に行い、基盤の強化に努めております。

また、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、国内における外食事業より完全撤退しております。

以上の結果、外食事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、堂島ホテル株式会社を連結の範囲から除外したこと等により858百万円（前年同四半期比 10.2%減）となり、営業利益は、OX (H.K.) COMPANY LIMITEDの店舗業態変更による改装費用等の一時的な発生により44百万円（前年同四半期比 5.3%減）となり、売上高及び営業利益は減少いたしました。

③ 給食事業

給食事業におきましては、計画と乖離することなく、売上高、営業利益とともに受託施設についても堅調な推移を見せております。

今後におきましても、堅実に増収増益を見込める事業として基盤の強化に努めてまいります。

以上の結果、給食事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,754百万円（前年同四半期比 10.9%増）、営業利益は、547百万円（前年同四半期比 10.2%増）となりました。

④ 介護事業

介護事業におきましては、平成22年5月より、株式会社ベストライフの開設した高齢者介護施設の入居幹旋業務を行っており、売上高、営業利益ともに堅調な推移を見せております。

以上の結果、介護事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、225百万円（前年同四半期比 37.3%増）、営業利益は、161百万円（前年同四半期比 15.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が140百万円、受取手形及び売掛金が134百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が210百万円減少したことによるものであります。固定負債は41百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に長期未払金が30百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,567百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は978万円となり、前連結会計年度末に比べ531百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益530百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.1%（前連結会計年度末は16.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月12日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,925	498,912
受取手形及び売掛金	643,019	777,095
商品	109,977	178,716
貯蔵品	9,127	11,194
その他	53,204	32,168
貸倒引当金	△20,027	△4,984
流動資産合計	1,153,226	1,493,102
固定資産		
有形固定資産		
土地	263,240	263,240
その他(純額)	258,376	255,565
有形固定資産合計	521,616	518,805
無形固定資産		
のれん	437,786	415,554
その他	2,778	2,312
無形固定資産合計	440,565	417,866
投資その他の資産		
その他	425,772	412,955
貸倒引当金	△310,549	△296,624
投資その他の資産合計	115,222	116,331
固定資産合計	1,077,403	1,053,003
繰延資産	7,539	—
資産合計	2,238,169	2,546,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	236,682	279,808
短期借入金	926,208	716,208
未払金	297,719	316,152
未払法人税等	34,819	14,150
賞与引当金	24,902	31,609
返品調整引当金	4,244	7,272
その他	191,023	160,826
流動負債合計	1,715,599	1,526,028
固定負債		
長期借入金	16,367	12,432
長期未払金	59,107	29,107
固定負債合計	75,474	41,539
負債合計	1,791,074	1,567,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△4,322,898	△3,792,793
自己株式	△42,303	△42,303
株主資本合計	332,414	862,519
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,073	31,834
その他の包括利益累計額合計	37,073	31,834
少数株主持分	77,606	84,183
純資産合計	447,094	978,537
負債純資産合計	2,238,169	2,546,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,710,594	5,772,707
売上原価	3,993,994	3,978,504
売上総利益	2,716,600	1,794,203
返品調整引当金戻入額	—	4,244
返品調整引当金繰入額	822	7,272
差引売上総利益	2,715,777	1,791,174
販売費及び一般管理費	2,519,282	1,230,279
営業利益	196,495	560,895
営業外収益		
受取利息	802	129
受取配当金	38	—
貸倒引当金戻入額	—	28,397
その他	8,202	2,030
営業外収益合計	9,043	30,557
営業外費用		
支払利息	163,415	13,798
株式交付費償却	67,486	7,539
為替差損	18,848	7,694
その他	11,946	3,751
営業外費用合計	261,697	32,783
経常利益又は経常損失(△)	△56,158	558,669
特別利益		
子会社株式売却益	2,002,402	—
特別利益合計	2,002,402	—
特別損失		
固定資産売却損	—	240
固定資産除却損	20,888	2,212
店舗閉鎖損失	71,578	2,217
減損損失	11,466	—
その他	46,209	—
特別損失合計	150,142	4,670
税金等調整前四半期純利益	1,796,100	553,998
法人税、住民税及び事業税	9,563	12,284
法人税等合計	9,563	12,284
少数株主損益調整前四半期純利益	1,786,537	541,714
少数株主利益	18,176	11,609
四半期純利益	1,768,361	530,105

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,786,537	541,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	386	—
為替換算調整勘定	△16,813	△10,272
その他の包括利益合計	△16,427	△10,272
四半期包括利益	1,770,110	531,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,760,172	524,866
少数株主に係る四半期包括利益	9,937	6,576

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	卸売事業	外食事業	ホテル事業	給食事業	介護事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	772,367	955,838	1,432,399	3,385,228	164,520	6,710,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,992	648	387	—	—	6,027
計	777,360	956,486	1,432,786	3,385,228	164,520	6,716,382
セグメント利益又は損失 (△)	36,858	46,517	△235,122	496,646	139,470	484,370

(単位：千円)

	その他（注）	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	240	6,710,594	—	6,710,594
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	6,027	△6,027	—
計	240	6,716,622	△6,027	6,710,594
セグメント利益又は損失 (△)	235	484,605	△288,109	196,495

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	484,370
「その他」の区分の利益	235
セグメント間取引消去	—
のれんの償却額	△18,270
全社費用（注）	△269,839
四半期連結損益計算書の営業利益	196,495

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	934,430	858,248	3,754,188	225,840	5,772,707	—	5,772,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	934,430	858,248	3,754,188	225,840	5,772,707	—	5,772,707
セグメント利益又は損失(△)	24,873	44,033	547,486	161,191	777,584	△216,689	560,895

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	777,584
セグメント間取引消去	—
のれんの償却額	△18,270
全社費用（注）	△198,418
四半期連結損益計算書の営業利益	560,895

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれておりました高齢者介護施設等の紹介幹旋業務に係る事業を分離独立し、「介護事業」を新設いたしました。

また、従来「外食・ホテル事業」と称していた事業は、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、セグメント名称を「外食事業」に変更しております。

これにより、従来「卸売事業」、「外食・ホテル事業」及び「給食事業」の3つを報告セグメントとしておりましたが、これを「卸売事業」、「外食事業」、「給食事業」及び「介護事業」の4つに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。